

新型コロナワクチン接種を考えている 妊婦さんへ

希望する妊婦さんはワクチンを接種することができます

妊娠中に新型コロナウイルスに感染すると、特に妊娠後期の感染ではわずかに重症化しやすいとされています。
このワクチンを接種することのメリットが、デメリットを上回ると考えられています。

あらかじめ健診先の医師に接種の相談をしてください。
その旨を接種会場の問診医に伝えて接種を受けてください。



里帰り中の方は「住所地外接種届」の提出は不要です。

副反応は一般の人との間に差はありません。
発熱時や頭痛に対してはアセトアミノフェンを内服して問題ありません。

ワクチン接種後も特に腹痛や出血、胎動減少などの症状がなければ、これまでと同様の健診・分娩管理を行います。

ワクチンを接種しても、感染予防策（適切なマスク使用、手洗い、人混みを避けるなど）は続けてください。



妊娠を望む方や授乳中の方も、他の方と同様に接種できますよ。ワクチンが、不妊症の原因になるという報告はないし、母乳に悪影響を及ぼすという報告もないからね！

不明な点や心配なことがあれば、かかりつけ医にご相談ください。